

1. パンジャブ大学について

パンジャブ大学はインド北西部の都市、チャンディーガルにあります。キャンパスには講義棟や寮の他、ローズガーデン、美術館、有名な建築家が設計した建物などもあり、とても見応えがありました。またマーケットで食品、日用品、雑貨が購入でき、とても便利でした。なお、チャンディーガルは計画都市であり、とてもきれいな街並みでした。

2. 学んだこと

本プログラムを通して主に二つのことを学びました。一つ目は英会話です。たくさん話す中で、少しずつコツをつかむことができました。例えば長い文章よりも、短い文章の方が伝わりやすかったため、簡潔に話すことを心がけました。自分から話しかけることもありましたが、日本人のような外見は珍しいからか、”Where are you from?”から会話が始まることも多く、想定よりも気軽に話すことができました。また会話の内容については、学生生活、アニメ、食文化など、日本文化や日印の相違点に関する話題は特に盛り上がりました。国境を超えた仲間ができたようで、とても嬉しかったです。

二つ目は文化です。日々の食事、寺院への訪問、イベントへの参加などを通して、多様な文化を直接的に体験することができました。食事については、数種類のカレーにチャパティをつけて食べ、食後に紅茶を飲むことが多かったです。一方で、イタリアンや中華を食べることもありました。またホーリー祭(北インドで行われるヒンドゥー教の祭り)に参加した時の驚きや、横断歩道のない道路を渡るときの緊張感が印象に残っています。(渡るときは学生が先導してくれました。)また、シク教徒の割合が高い地域であるため、ターバンを巻いた人が多かったのも印象的でした。他にも食事、道端の風景、ポスターなど、日本と異なる点ばかりで、発見や驚きの多い日々を送りました。



シク教寺院とオートリキシャ

3. 感想

初めての海外渡航だったため、英語が通じるか、健康に過ごせるかなど、不安でいっぱいでした。しかし先生や学生に温かく迎えていただいたため、緊張がほぐれました。(ドライブやディナーに招いてくださいました。)また困ったときには助けてもらい、本当に心強かったです。人の温かさや文化の奥深さに触れ、再訪したいと感じています。インドは南北で文化が大きく異なると聞いたため、南部にも訪問したいです。

本プログラムには、海外の生活と、外国の方と意思疎通する経験がしたいという思いから参加しました。実際に海外体験や国際交流をすることで、外国の方との接し方を学ぶことができたと思います。日常的に英語を使うことで、英会話に対する抵抗感をなくすこと、相互に文化を理解して受け入れることが重要だと感じました。今後はインドの学生と連絡を取ったり、海外に行ったりして、国際交流を続けたいと考えています。

YOKOHAMA-SXIP~来年度以降 Panjab University への研修へ参加したいと思っている人
に向けて~(Panjab University 2/27-3/10)

化学生命系学科4年 U.M

1. 日本での交換留学生との活動について

- ・シンポジウム(1人1分くらい英語でのスピーチ)
- ・Discussion(先生が決めてくれたテーマについて1~1.5時間×3)
- ・Factory Tour
- ・Cultural Tour(三溪園、三菱郵船博物館)
- ・Free day(日曜日)の日本観光(浅草→東京駅→皇居→スカイツリー)※昼ご飯はVegetarianの人もあるので注意

2. インドの大学での活動について

2.1 旅行前の準備について

2.1.1 持ち物について

衣服(Holiで汚れるため捨ててもいいような服も持っていくと○)、パスポート、e-visa(紙でコピー)、コロナワクチン接種証明書、薬(解熱剤、胃腸薬 etc)、ウエットティッシュ、トイレトペーパー、シャンプーボディーソープ類、洗剤(頼んだら270ルピーくらいでしてくれる)、室内用の履物、その他日用品

2.1.2 お金について

宿泊費が10080ルピー/人、朝ご飯が1000ルピー/人くらい
多めに見積もって1人30000円両替したら十分かと(行きは忙しいのでデリーの空港で両替しちゃうのが○)

2.2 現地での活動について

- ・パンジャブ大の先生方に挨拶
- ・G20,Y20(前夜祭的なやつでダンス、劇など鑑賞。各国の先生方の5~10分程度のプレゼン聴講)
- ・工場見学(Tynor:医療関係のサポーター、枕などの日用品の製造工程見学)
- ・観光(Rose Garden,Sukhna Lake,Rock Garden,Anadpur Sahib(シク教の寺院),VIRASAT-E-KHALSA(シク教の博物館),Japanese Garden,Kasauli Hills)
- ・お祭り(GooNJ(学内のお祭り),CYNIDE(Cheical Engineeringのお祭り)に向けてのセレモニー,Holi(インドの祝日、colorの粉をつけ合う))

3. その他

- ・WIFIは借りた方が○(Chandigarhの空港WIFIは無し、Dehli空港、Panjab大のWIFIは○)
- ・ご飯はスパイシーだけど癖になる辛さ(個人的には)、スイーツはとても甘い。

- ・日本人は珍しいのか現地の人は真顔ですごい見つめてくるけど、笑顔で見つめ返せばすごいいい笑顔で返してくれる。
- ・インドの学生はとにかく優しい。そしてテンションが高め。ただ学年の上下関係が日本よりも強め。
- ・英語はとにかくシンプルに!少ない単語で! 適当でも話せば意外と通じる。

